

## 国際婦人デー3・6東京集会に寄せられたメッセージ

### ギリシャ共和国からのメッセージ

社会主義・共産主義の社会こそが我らのすすむべき道を照らし出す

ギリシャ共産党中央委員会国際関係部

同志諸君

われわれは、三月八日の国際婦人デーに際して、あなたがたが組織している活動を歓迎します。

三月八日の歴史的記念日は、労働運動によって確立され、平等な賃金と人間らしい労働条件、労働時間の短縮、実質をともなった平等を求める男女の労働者による困難な闘いと結びつきました。

ドメスティック・バイオレンスや労働現場でのセクシャル・ハラスメント、中絶する権利に対する攻撃といった、現存する一連の社会問題の根源は、搾取関係にあり、その上に男女間の不平等が何世紀にもわたって構築されてきました。

女性は、蓄積された経験を活用して、自分たちの生活の見方を変えることができます。世界中で労働者階級の権利が失われている理由、帝国主義の介入と戦争によって引き起こされている苦難と資本主義諸国間の危険な妥協の理由について、見方を変えることができます。

あなたがたの地域の状況の特徴づけているのも、やはり、合衆国と中国との帝国主義間の対立の激化であり、それに対し、菅内閣は、日本のブルジョワジーのために活発に関与しています。独占を支援するため、オリンピックのための活動に、また、軍事的な支出のため、多額の資金が提供されています。その一方で、労働者と小規模企業家は、不安定状態と貧困に直面し、女性は第一の犠牲者となっています。

こんにち、すべての女性が、一日に定められた労働時間、より少ない労働時間で、社会的な労働に平等に参加できるはずです。母性と家族、その必要を社会的に支援するため、国家による手立てが提供されるのは、実現可能なことです。そうなれば、女性たちは、労働時間外の自由時間を、本当に自由に、創造的に活用できるはずです。

より優れた社会、あらゆる抑圧と不平等の根源である搾取のくびきから解放された社会主義・共産主義の社会が道を照らしています。

連帯をこめて

アテネ

二〇二一年二月二十四日

【翻訳＝杉本芳夫】

(『思想運動』1063号 2021年4月1日号)